

「産総研の知財紹介 ー凍結鑄型、セラミックス多孔体、触媒ー」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて講演会を開催致します。今回は、産総研の凍結鑄型、セラミックス多孔体、触媒に関する最近の知的財産等の紹介をさせていただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

- ◆日時：平成28年10月14日（金）14：00～17：00
- ◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室（裏面を参照してください）
- ◆定員：35名
- ◆申込方法：裏面の申込書をFAXでお送りいただくか、電子メールにて、出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、裏面に記載のE-mailアドレスへ送信下さい。

■講演会スケジュール：（司会：産総研中部センター パテントオフィサー 池山 雅美）

14:00ー 「凍結鑄型および凍結中子の実用化技術開発」
構造材料研究部門 軽量部材鑄造技術グループ グループ長 尾村 直紀

砂に少量の水を添加した物を凍結して作製する凍結鑄型は、鑄造プロセスの作業環境改善や環境負荷低減などの利点を有し、注目を集めています。しかし、鑄型から発生するガス（水蒸気）などが問題となり、これまで実用化はあまり進んでいません。本講演では、凍結鑄型および凍結中子の広範な実用化に向けた我々の取り組みを紹介します。

14:40ー 「軽くて強いセラミックス多孔体」
構造材料研究部門 セラミック機構部材グループ 研究員 嶋村 彰紘

耐火物、断熱材、軽量構造部材、フィルター等で利用されているセラミックス多孔体は高性能化のため、軽量(高气孔率)かつ高強度化が求められます。しかし、気孔率の増加に伴い強度は低下するために、軽量・高強度の両立には限界がありました。そこで、荷重のかかる表面のみを高密度化することで強度の向上を行いました。具体的には、成形体作製時に発泡ガスを用いて内部を多孔質に、そして表面近傍の発泡ガスを放出することで表面部分を比較的高密度にした後、一般的な脱脂・焼成処理により、高密度表面層を備えたセラミックス多孔体を得る事に成功しました。この方法は様々なセラミックス原料を用いた多孔体の作製に適用することができます。

15:20ー
ー 休 憩 ー

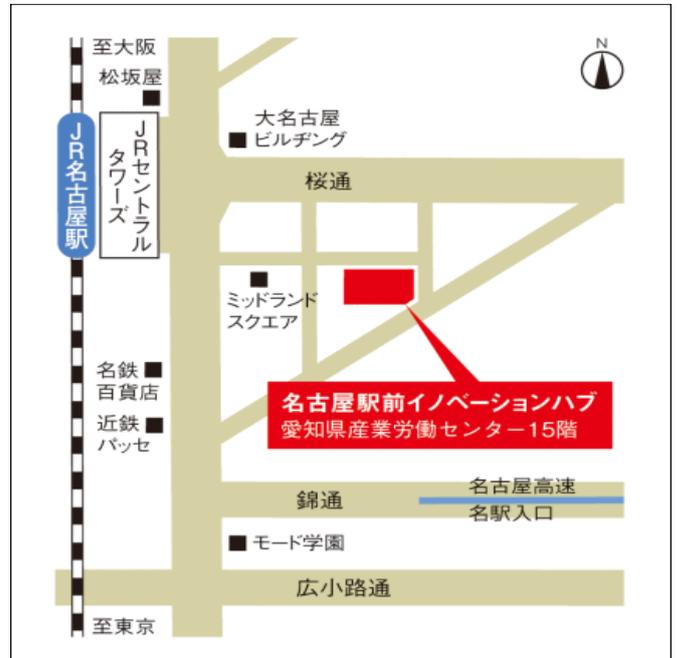
15:40ー 「微粒子高次構造制御プロセスによる環境調和型触媒の開発
ー長寿命PM燃焼触媒・コバルトフェライトCO酸化触媒ー」
磁性粉末冶金研究センター ソフト磁性材料チーム 主任研究員 砥綿 篤哉

DPF（Diesel Particulate Filter）を用いた浄化システムにおいて微小粒子状物質（PM2.5）を燃焼して浄化する触媒に関して、粒子を立体的に構造化した複合粒子を用いることにより、燃焼を繰り返し行っても燃焼終了温度がほとんど変わらない触媒を開発しました。また、COによる触媒劣化に強いコバルトフェライト触媒を組成制御することによって、室温でCOを60%CO₂に酸化して除去することができる触媒を開発しました。この講演では上記二つの環境調和型触媒に関して紹介いたします。

- 16:20ー 「産総研の技術移転について」
 イノベーション推進本部 ベンチャー開発・技術移転センター
 技術移転マネージャー 倉西 敏行
- 16:40ー 総括討論・名刺交換会 (17:00 終了)

【お問合せ・申し込み先】
 産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会
 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)
 TEL : 052-583-6454
 E-mail:aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】(右図参照)
 名古屋駅前イノベーションハブ
 住所：〒450-0002
 名古屋市中村区名駅4-4-38
 愛知県産業労働センター 15階
 (ウインクあいち)
 *名古屋駅より徒歩2分
 TEL : 052-583-6454
 FAX : 052-583-6462



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成28年度産総研知財普及講演会

「産総研の知財紹介ー凍結鋳型、セラミックス多孔体、触媒ー」

(平成28年10月14日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL ()	—

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行ないません。